

## データについて

集計期間:2023年4月1日～2024年3月31日

DPC導入の影響評価に係る調査に提出している、データを使用

### ○様式1(サマリーデータ)

入退院情報、病名情報等

※入院後24時間以内に死亡した患者、臓器移植は集計対象外。

### ○様式4

医療保険診療以外の診療の有無に係る情報

医科レセプトのみの患者

## 総括

### ①年齢階級別患者数

退院患者数は前年度(2022年度)から約26%増加。

新型コロナウイルス流行前の2019年度と比較すると、約2%の減少。

90歳以上の方が占める割合が、2019年度以降で最も高くなっている。

(2019年度と比較して約9%の増加)

### ⑥診療科別主要手術別患者数等

全体の手術件数は、前年度(2022年度)から約12%増加。

2019年度と比較すると、約10%の減少。

○前年度(2022年度)は、新型コロナウイルスによる入院制限を実施。

## ①年齢階級別退院患者数

### <定義>

・令和5年度に当院を退院された患者様（一般病棟に1回以上入院した患者様）の入院時年齢を10歳刻みで集計。

ただし、入院後24時間以内に死亡退院した患者様は除きます。

・患者数が10未満の場合は、-(ハイフン)で表示しています。

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
患者数	-	-	-	-	18	54	99	195	192

当院は、65歳以上の人口が50.3%（2023/10時点）と、大分県内でも高齢化率の高い地域にあります。

80～90歳以上の年齢の入院患者様が約67%となっており、全体の半数以上を占めています。

平均年齢は約82歳です。

②診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)

DPC対象病院ではないため、未作成。

### ③初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数

#### <定義>

- ・5大癌（胃癌、大腸癌、乳癌、肺癌、肝癌）について、初発と再発に分けて患者数を表示。
- ・令和5年度に当院を退院された患者数（一般病棟に1回以上入院した患者様）を集計。  
ただし、入院後24時間以内に死亡退院した患者様は除きます。
- ・入退院を繰り返している場合は入院回数分を集計。
- ・患者数が10未満の場合は、-(ハイフン)で表示しています。

	初発					再発	病期分類 基準(※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	-	-	-	-	-	-	1	8
大腸癌	-	-	-	-	-	10	1	8
乳癌	-	-	-	-	-	-	1	8
肺癌	-	-	-	-	-	-	1	8
肝癌	-	-	-	-	-	-	-	-

※UICC病期分類「1」、癌取り扱い規約「2」

当院では、大腸癌治療に伴う入院患者様が最も多くなっています。

#### ④成人市中肺炎の重症度別患者数等

##### <定義>

- ・令和5年度に当院を退院された患者様（一般病棟に1回以上入院した患者様）のうち、
  - 「入院の契機となった傷病名ICD」と「医療資源を最も投入した傷病名ICD」がどちらも「J13」～「J18\$」
  - 年齢が20歳以上
- ・上記の条件に該当する患者様を集計しています。
- ・ただし、入院後24時間以内に死亡退院した患者様は除きます。
- ・入退院を繰り返している場合は入院回数分を集計。
- ・重症度分類は、A-DROPスコアを用い、軽症～超重症の4段階で表記。
- ・患者数が10未満の場合は、-(ハイフン)で表示しています。

	患者数	平均 在院日数	平均年齢
軽症	-	-	-
中等症	17	19.35	89.29
重症	-	-	-
超重症	-	-	-
不明	-	-	-

市中肺炎とは、通常の社会生活の中でかかる肺炎のことです。  
誤嚥性肺炎は、集計対象外です。

## ⑤脳梗塞の患者数

### <定義>

- ・令和5年度に当院を退院された患者様（一般病棟に1回以上入院した患者様）のうち、「医療資源を最も投入した傷病名ICD」が「I63\$」の患者様の患者数数、平均在院日数、平均年齢、転院率(%)を集計。  
ただし、入院後24時間以内に死亡退院した患者様は除きます。
- ・患者数が10未満の場合は、-(ハイフン)で表示しています。

発症日から	患者数	平均 在院日数	平均年齢	転院率
-	-	-	-	-

⑥診療科別主要手術別患者数等(診療科別症例数上位5位まで)

<定義>

・令和5年度に当院を退院された患者様(一般病棟に1回以上入院した患者様)の主たる手術(又は点数の高い手術)を集計。

ただし、入院後24時間以内に死亡退院した患者様、軽微な手術・臓器移植は除きます。

・診療科別の主要手術について、患者数、術前・術後の平均在院日数、転院率、平均年齢を集計。

・10未満の数値の場合は、-(ハイフン)を記入しています。

※:同一入院期間に複数の手術を行っていても主たるもののみ集計しているため、実際の手術件数とは異なります。

外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm未満)	40	0.63	1.20	0.00	69.98
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	23	1.35	7.26	0.04	85.22
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	15	7.00	30.13	0.07	74.87

整形外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K0461	骨折観血的手術(上腕)、(大腿)	20	3.90	48.10	0.05	85.50
K0462	骨折観血的手術(前腕)、(下腿)	-	-	-	-	-
K0811	人工骨頭挿入術(股)	-	-	-	-	-

総合診療科/内科

全てが10件未満のため、表の掲載不要

⑦その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)

<定義>

- ・令和5年度に当院を退院された患者様(一般病棟に入院した患者様)のうち、「医療資源を最も投入した傷病名」が【播種性血管内凝固症候群】、【敗血症】、【その他の真菌感染症】、【手術・処置等の合併症】の場合、「入院の契機となった傷病名」と同一か異なるかを区別して症例を集計。
- ・10未満の数値の場合は、-(ハイフン)を記入しています。

傷病名	入院契機	症例数	発生率
播種性血管内凝固症候群	同一	-	-
	異なる	-	-
敗血症	同一	-	-
	異なる	-	-
その他の真菌感染症	同一	-	-
	異なる	-	-
手術・処置等の合併症	同一	-	-
	異なる	-	-